

FileCapsule Slate ヘルプファイル

1. はじめに

このファイルは FileCapsule Slate のヘルプファイルです。よくお読みになって、大切に保管してください。

1.1 FileCapsule Slate の動作可能 OS

- Microsoft Windows 8 / 8.1 (32 ビット版 / 64 ビット版)
- Microsoft Windows RT

1.2 注意事項

- 本ソフトの配布に当たっては十分な動作テストを行っていますが、万が一誤動作することも考えられますので、ご使用になる 環境で一度動作確認をしてからご利用になることをお勧めします。
- 本ドキュメントに記載されている社名および商品名は、本文中には明記していませんが、一般に各メーカーの商標または登録商標です。

2. FileCapsule Slate について

2.1 他の FileCapsule との互換性

FileCapsule Slate と互換性がある FileCapsule は、FileCapsule Deluxe Portable Ver.2.x のみです。

それ以前の FileCapsule で作成された暗号化ファイル、公開鍵ファイルおよび秘密鍵ファイルは、FileCapsule Slate で開くこと ができません。また、FileCapsule Slate で作成した暗号化ファイル、公開鍵ファイルおよび秘密鍵ファイルを FileCapsule Deluxe Portable Ver.2.x 以前の FileCapsule で開くこともできません。

2.2 開発情報

開発環境
 Microsoft Visual Studio Professional 2013
 動作確認
 Microsoft Windows 8.1 Pro (64 ビット版)

Microsoft Windows RT

2.3 暗号化アルゴリズム

共通鍵暗号方式
 アルゴリズム: AES-CBC 256 ビット
 ハッシュ: SHA-2
 公開鍵暗号方式
 アルゴリズム: RSA-OAEP 2048 ビット & AES-CBC 256 ビット
 ハッシュ: SHA-2

2.4 制限

- 処理できるデータのパスは 259 字以内です。
- 共通鍵暗号のパスワードは半角 64 字以内です。
- 暗号ファイルに格納できるファイルの最大数は 1024 個です。フォルダーは暗号化できません。
- 一つのファイルとして処理できる最大データ容量は、理論上 18446744073709551615 バイトまでです。
- FileCapsule Deluxe Portable と互換性のある実行形式の暗号化ファイルを作成、または復号することはできません。
- ファイルのタイムスタンプを暗号化時に記録することはできますが、復号時に復元することはできません。
- ファイルの属性は、暗号化時に一部の属性のみ記録することができますが、復号時に復元することはできません。
- NTFS では、そのファイルシステムの特性上、ファイルの完全削除が期待通りに機能しない可能性があります。

3. インストールとアンインストール

3.1 インストール

FileCapsule Slate のインストールは、必ずストアを利用して行う必要があります。ストア以外の配布元からは、アプリケーションをイ ンストールすることができません。



スタート画面からストアにアクセスします。

インストールを行うには、スタート画面からストアにアクセスして、チャームから検索を呼び出し、 "FileCapsule Slate" を検索します。 検索結果から FileCapsule Slate を選択することで、インストールのための画面が表示されます。

✓ FileCapsule Slate と互換性のあるデスクトップアプリの FileCapsule Deluxe Portable は、Vector さん、もしくは公式サポートサイトから入手することができます。ストアからは入手することができません。



チャームを呼び出してストア内を検索してください。



"FileCapsule Slate"を検索すると結果が表示されます。

また、ストア内のカテゴリの [セキュリティ] から FileCapsule Slate を探してインストールすることもできます。



3.2 アンインストール

アンインストールは、スタート画面で FileCapsule Slate のタイルを選択した後、アプリバーで [アンインストール] を選択します。



アンインストールはスタート画面を操作して行います。

4. 暗号化を行う

Step 1. どのように暗号化を行うのかを選択する

まず、スタート画面で FileCapsule Slate のタイルを見つけ、FileCapsule Slate を実行します。

実行すると、以下のような画面が表示されます。この画面で、パスワードを用いてファイルを暗号化するのか、公開鍵を用いてファイ ルを暗号化するのかを選択してください。



暗号化は、この手順から行ってください。よくわからない場合は、[パスワードを用いて暗号化]が便利です。

Step 2. 暗号化を行うファイルを選択する

どのように暗号化を行うのかを選択すると、次は暗号化を行うファイルの選択画面が表示されます。

以下のような画面で、暗号化したいファイルを選択します。暗号化したいファイルすべてにチェックマークがついたのを確認し、画面 右下の [選択] をクリックしてください。

ファイル ~ 大事な	アイル	
上へ 名前順 ~ 選択の)解除 (①ファイルを選択する
ルゼン資料	IMG_2737.JPG 2012/09/25 20:23 14.5 MB	<u>×</u>
	ファイル一覧.txt 2012/09/26 8:33 0 バイト	
	更新履歴:txt 2012/09/22 20:33 66 バイト	
	打ち合わせ内容.docx 2012/09/25 23:45 99.8 KB	
		②[選択] をクリック ノ
		⊬
打ち合わせ内 客.docx 更新履歴.txt	ファイルー覧.txt	選択 キャンセル
複数のフォルダーにまたがってファイルを递	髪択することもできます。	

Step 3. パスワードを入力、または公開鍵を選択して処理を開始する

Step 1 での選択に応じて、ファイルを暗号化するためのパスワードの入力画面、または公開鍵の選択画面が表示されます。



[パスワードを用いて暗号化]を選択した場合は、この画面が表示されます。

۲	公開鍵の選択	2	公開鍵がリストに追加される
	公開鍵 (1) 2012/09/26 10:07 319 /C1ト	X開鍵 (6) 012/09/26 10:07 19 バイト	×
	公開鍵 (2) 2012/09/26 10:07 319 バイト 2012	X開鍵 (7) 012/09/26 10:07 19 バイト	
	公開鍵(3) 2012/09/26 10:07 319 バイト		
	公開鍵 (4) 2012/09/26 10:07 319 バイト		
	公開鍵 (5) 2012/09/26 10:07 319 バイト		
	公開鍵 2012/09/23 18:23 319 バイト		③処理を開始
			X
、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、 、	「「」」	①公	開鍵を選択する → 🕀 🥹

[公開鍵を用いて暗号化]を選択した場合は、この画面が表示されます。

パスワードの入力画面が表示された場合は、パスワードを入力し、 ● をタップ、またはクリックしてください。 公開鍵の選択画面が表示された場合は、公開鍵を画面上のリストに追加し、 ● をタップまたはクリックしてください。



✓ 暗号化の際に利用できる公開鍵は、FileCapsule Slate で作成されたものか、FileCapsule Deluxe Portable
 Ver.2.x で作成されたものに限られます。

5. 復号を行う

Step 1. 復号の準備を行う

復号を行うには、スタート画面から FileCapsule Slate を立ち上げて [ファイルの復号] を選択するか、SkyDrive やデスクトップ などにある暗号化ファイル(拡張子が .fcxe のファイル)を開きます。



拡張子が .fcxe のファイルを直接開いた場合は、この操作は必要ありません。

[ファイルの復号]を選択した場合は、復号するファイルの選択画面が表示されます。復号を行うファイルを選択し、[選択]をタップ、 またはクリックしてください。

Step 2. パスワードを入力、または秘密鍵を選択して処理を開始する

復号するファイルを選択すると、その暗号化ファイルの暗号化方式に応じて、パスワードの入力画面か秘密鍵の選択画面が表示 されます。

パスワードの入力画面が表示された場合は、そのファイルを復号するための正しいパスワードを入力し、 ④ をタップ、またはクリック して処理を開始してください。秘密鍵の選択画面が表示された場合は、復号に用いる秘密鍵を選択し、その後表示される ④ をタップ、またはクリックして処理を開始してください。

復号に暗号化された秘密鍵を用いる場合、処理を開始する前に、秘密鍵を復号するためのパスワードを入力する画面が表示されます。



暗号化の際にパスワードを用いていた場合は、パスワード入力画面が表示されます。

€ 秘密鍵の選択
秘密鍵を選択する
タッブ、もしくはクリックして復号に用いる秘密鍵を選択します
復号を実行するファイル 15合わせ
2012/09/22 20:27 2012/09/15 21:04 30.8 MB 31.7 MB

暗号化時に公開鍵を用いていた場合は、秘密鍵の選択画面が表示されます。



6. 公開鍵と秘密鍵を作成する

アプリケーションを起動した画面で、モニタを上端からスワイプするか、マウスで画面上を右クリックすると、画面上部にアプリバーが表示されます。公開鍵と秘密鍵を作成するには、[公開鍵と秘密鍵を作成する]を選択してください。

①アプリバーを呼び出す						
「パスワードを用いて暗号化 >	公開鍵を用いて暗号化 >		する			
しついているパスワードでデータの暗 弓化を行います	単写化後にファイルを抱人へ送信したい場合 などに利用します	除ら化されているファイルを元に戻します				

この画面以外では、[公開鍵と秘密鍵を作成する] コマンドは表示されません。

秘密鍵を暗号化して保存する場合は、[秘密鍵は暗号化して保存する] を [はい] に設定し、秘密鍵を暗号化するためのパスワ ードを入力してください。

画面右下の [作成] をタップ、またはクリックすると、公開鍵と秘密鍵の保存場所を選択する画面が表示されます。保存場所を 選択して [選択] [OK] の順に操作すると、鍵が作成され、メッセージが表示されます。

 公開鍵と秘密鍵の作成	秘密鍵を暗号化する場合は
以下の 2 種類の鍵を作成します	設定する ^{₩Ξ18}
オプション 秘密維は暗号化して保存する いいえ 「 バスワード パスワードの確認	
準備ができたら	る鍵の作成を開始する → 🖉

公開鍵と秘密鍵の作成はこの手順で行ってください。

- ✓ FileCapsule Slate で作成した公開鍵と秘密鍵は、FileCapsule Deluxe Portable Ver.2.x で作成することができる鍵と完全に互換性があるため、どちらのアプリケーションからでも利用することができます。
- ✓ FileCapsule Slate で作成した公開鍵と秘密鍵を、FileCapsule Deluxe Portable Ver.1.03 以下のバージョン で利用することはできません。

7. 動作設定を行う

7.1 設定画面の呼び出し

設定画面を呼び出すには、他のすべてのストアアプリケーションと同様に、チャームを表示し、[設定] を選択します。その後、表示 される各項目を選択することで、設定画面を表示することができます。



チャームの呼び出し



設定を行う項目を選択すると、設定画面が表示されます。

✓ 設定画面を閉じると、すぐに設定が反映されます。

✓ 設定画面は、暗号化および復号の処理を行っている時以外は、どの画面からでも呼び出すことができます。

 ✓ FileCapsule Slate の設定は、ローミングが行われません。複数のコンピューターで FileCapsule Slate を利用する 場合は、コンピューターごとに設定を行ってください。

7.2 暗号化の設定



暗号化の設定

■ 暗号化処理

この設定を [はい] に設定すると、ファイルのタイムスタンプを暗号化ファイルに記録することができます。タイムスタンプが記録された 暗号化ファイルを FileCapsule Deluxe Portable で復号すると、ファイルのタイムスタンプが自動的に復元されます。FileCapsule Slate では、タイムスタンプの記録のみ可能で、復元を行うことはできません。 暗号化されたファイルの保存先を選択します。

■ 暗号化後の処理

暗号化後に、オリジナルデータを削除するかどうかを設定します。削除を行う場合、どのように削除するかも選択する必要があります。

▶ ごみ箱へ

オリジナルデータをごみ箱へ移動します。ファイルの場所によってはごみ箱に移動されず、削除される場合もあります。

▶ 削除

ファイルはごみ箱に移動されず、そのまま削除されます。

▶ 完全に削除

ファイルの内容を上書きしてから削除します。上書きにより、削除されたファイルを復元するソフトウェアでの復元が困難になります。

7.3 復号の設定



復号の設定

■ 復号されたデータの保存先

復号されたデータの保存先を選択します。

■ 復号の方法

[フォルダーを作成し、その中に復号する] を選択すると、復号時、保存場所に新しくフォルダーが作成され、その中に復号されたフ ァイルが保存されます。

■ 復号後の処理

復号後に、暗号化ファイルを削除するかどうかを設定します。削除を行う場合、どのように削除するかも選択する必要があります。

▶ ごみ箱へ

暗号化ファイルをごみ箱へ移動します。ファイルの場所によってはごみ箱に移動されず、削除される場合もあります。

▶ 削除

ファイルはごみ箱に移動されず、そのまま削除されます。

▶ 完全に削除

ファイルの内容を上書きしてから削除します。上書きにより、削除されたファイルを復元するソフトウェアでの復元が困難になります。

7.4 その他の設定

FileCapsule Slat	ē		€ その他の設定
パスワードを用いて暗号化 >	ン 公開鍵を用いて暗号化 >	ファイルの	セキュリティ 改ざんのチェックを行う
			(‡U) 🗾
		Ś	
自分だけが知っているバスワードでデータの暗 号化を行います	暗号に後にファイルを他人へ送信したい場合 などに利用します	暗号化されてい	

その他の設定

■ セキュリティ

[改ざんのチェックを行う] を [はい] に設定すると、ファイルの詳細な情報が暗号化ファイルに記録され、復号時にファイルを正しく 復号できたかどうか確認することができるようになります。

この設定を [はい] にして暗号化ファイルを作成しても、復号時に [いいえ] に設定されている場合は、ファイルの確認は行われま せん。また、この設定を [いいえ] にして作成された暗号化ファイルは、復号時に [はい] にしてもファイルの確認が行われません。

✓ [改ざんのチェックを行う] を [はい] に設定すると、 [いいえ] に設定されている時と比べ、暗号化および復号の処理に かかる時間が増加します。

7.5 バージョン情報



バージョン情報

FileCapsule Slate のバージョン情報を参照することができます。アプリケーションのサポート情報やプライバシーポリシーもここから参照することができます。

8. いろいろな使い方

8.1 スナップ状態で利用する

FileCapsule Slate はスナップ状態でも動作するため、暗号化や復号を行いながら他の作業を行うことが可能です。

€ 処理を実行しています		ンピューター アの キットワークトライブ キットワークの DWH の の別当て - 地所の魚加 を観台	図 プログラムのアンイン マンテムのプロパテ・ マンテムのプロパテ・ 全 管理	νストールと変更 (- 0	× ^ (2)		
打ち合わせ資料	 御所 ⑦ ⑦ ↑ ↑ ● → 1 / ● → 12/2- ※ お方ふり ◎ ダウンロード ● ブンロージ ● 愛知意気に応望所 ◎ ライブ列 ● ドキュンント ● ピブオ ● シューシウ ◎ ホームグルーブ ● 福奈県未 ● ブンビューター ● Windows 8 (C:) ● Matwark Drive1 (M:) 	キットワーク ラー ヘ ・ ハード ディスク ドライブ (3) Windows 8 (C:) 空音領域 1991 CB/931 CB DATAPART2 (L:) 空音領域 194 CB/732 CB ・ リムー・(アル記信域)のあるデバイス (1) Windows 8 (C:) 空音領域 194 CB/732 CB ・ リムー・(アル記信域)のあるデバイス (1) ジン DVD RW ドライブ ():) ・ キットワークの場所 (2) NetworkD/tve1 (M:) 空音領域 513 CB/917 CB	2.25A Windows 7 認示(v) 編5 の880 00 63 0080 00 63 0080 00 63 0080 00 31 010 道 8 道 010 道 8 道 010 道 8 道 0 2 道	(D:) (D:) (C:)	ターの決定 電卓 90000 (0000 (日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	I 20000 00 00 00 00 00 00 00 00 00	р 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00	000 000 3 300 000 1 M+ h 2 1 7 2 4 11 1 - + +	21:39 2012/09/27

スナップ状態での様子

✓ 処理するファイルの選択や、保存先の選択など、一部の画面はスナップ状態で動作しないため、そのような操作が行われた場合はスナップが自動的に解除されます。

8.2 Windows 8 / 8.1 / RT 以外の環境で暗号化または復号を行う

FileCapsule Deluxe Portable Ver.2.x を利用すると、Windows Vista 以降のOSで FileCapsule Slate と互換性のある暗号 化ファイル、公開鍵、および秘密鍵ファイルを作成することができます。

8.3 パスワードの代わりにファイルを利用する

FileCapsule Slate は、任意のファイルをパスワードの代わりに利用することができます。任意のファイルをパスワードとして利用する には、パスワード入力画面でアプリバーを呼び出し、[ファイルをパスワードとして利用する] を選択してください。

€ パスワードの入力	
パスワード パスワードの確認	
 アプリバーを呼び出す 	②選択する ア/1/0/02-

復号の画面、公開鍵と秘密鍵を作成する画面、秘密鍵のパスワードを入力する画面でも、同様の操作で実行できます。

ファイルの選択画面が表示されたら、パスワードとして利用するファイルを一つ選択し、[選択]をタップ、またはクリックします。



パスワードとして利用できるファイルは一つだけです。

ファイルのサイズによっては、パスワードの生成まで時間がかかることがあります。パスワードの生成をキャンセルする場合は、画面左 上の € ボタンを選択してください。

 ・ パスワードの入力 ・ パスワードの生成をキャンセルする場合は、ここをクリック
パスワード パスワードの確認 パスワードを生成しています もしくはここをクリックして、 [キャンセル] を選択

すべての操作は、戻ることでキャンセルすることができます。

✓ パスワードの入力画面では、どの画面でも同じ操作方法でファイルをパスワードとして利用することができます。

✓ CD や DVD、ドライブなどをパスワードとして利用することはできません。

9. その他

9.1 よくある質問と回答

Q. FileCapsule Deluxe Portable でファイルの関連付けを行っていますが、FileCapsule Slate はどのように動作しますか。

- A. 最初の起動時に、どちらのアプリケーションを主に利用するのかを決定するダイアログが表示されます。
- Q. 復号時にタイムスタンプや属性が復元されません。
- A. FileCapsule Slate では、タイムスタンプと属性の復元を行うことができません。記録のみが可能です(属性は一部のみ)。 タイムスタンプや属性の復元が必要な場合は、FileCapsule Deluxe Portable をご利用ください。

Q. パスワードや秘密鍵を、忘れたり紛失したりしてしまいました。復号は可能ですか。

A. パスワードや秘密鍵を忘れたり紛失したりした場合、パスワードを思い出していただくか、紛失した秘密鍵を見つけない限り、 復号は不可能になります。

9.2 連絡先とサポート

サポートはメールでのみ行います。

resume_next@infoseek.jp

まで、ご連絡ください。メールの件名に [WRT] が含まれているメールは、受信の際に自動的に振り分けられるように設定しています。

9.3 再配布と掲載に関して

FileCapsule Slateと、そのヘルプファイルの掲載、再配布は自由ですが、ファイルの内容を変更することなく行ってください。特に、いかなる著作権情報も書き換えたり削除したりしてはいけません。また、不特定多数の方への配布、掲載は、事後でも構いませんので御一報ください。

雑誌などへの掲載は、公序良俗、法律に反するものでない限り、許可いたしますが必ず御一報ください(事後でも構いません)。

その他、よくわからない事や、疑問などありましたら、上記のサポート先までご連絡ください。

✓ アプリケーション本体については、掲載のみ可能で、再配布を行うことはできません。

本ドキュメントは必要に応じて再配布が可能です。再配布はドキュメントの内容を変更せずに行ってください。 CopyRight (C) 2012-2013 ON ERROR RESUME NEXT. All Rights Reserved.